

小樽市公共施設長寿命化計画の見直し（令和8年2月）

1 小樽市公共施設長寿命化計画の見直し

令和3年2月に策定した「小樽市公共施設長寿命化計画」の推進に当たっては、計画期間である38年を4期に区分し、各期単位で計画の見直しを行うほか、期間内であっても、社会情勢や財政状況等の変化に応じた見直しを概ね5年サイクルで実施することとしております。

令和7年度に計画策定後5年を経過することから、この度、第1期計画の前半（令和3～7年度）の施設整備の進捗や各施設の状況を踏まえ、第1期計画の後半（令和8年度～）以降の整備方針（建て替え、長寿命化改修及び改修、統合化・複合化、除却等）や時期を見直しました。

2 見直し箇所

	計画に記載されている内容	見直し内容	
【第1章】 対象施設 (p.4)	【1-4】 ・対象施設の説明	・施設数と対象施設の文言を修正	資料1
【第2章】 財政の状況 (p.7)	【2-2】 ・10年間の財政の状況を記載	・令和6（2024）年度までの実績値（決算額）に修正	資料2
【第4章】 施設一覧 (p.18～38)	【4-3-1～4-3-12】 ・築年数や構造、整備方針及び時期等を記載した表	・「築年数」及び「残耐用年数」を令和7（2025）年末時点で算出 ・「整備方針」や「時期」の見直し	資料3
【第4章】 対象施設の評価 (p.18～38)	【4-3-1～4-3-12】 ・施設の状況や整備方針等を記載した文章	・施設の状況等の時点修正 ・「整備方針」や「時期」の見直し	資料4
【第5章】 ロードマップ (p.39～42)	【5-1】 ・整備方針や時期を記載した表	・第4章の見直しに合わせたスケジュールの反映	資料5
【第5章】 概算事業費 (p.44)	【5-2】 ・第1期計画期間中の推計事業費を記載した表	・第1期計画前半（令和3～7年度）の推計値を実績値に変更 ・第1期計画後半（令和8～12年度）の推計値を時点修正	資料6

※見直しは、令和7年11月末現在

◆担当

財政部契約管財課（公共施設担当）
〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号
電話 0134-32-4111 内線385
ファクス 0134-23-0675
メール keiyaku-kokyo@city.otaru.lg.jp

<第1期計画後半（R8～12）において、整備方針や時期が変更となる主な施設>

	施設名	現計画に記載されている 整備方針・時期	見直し後の整備方針・時期
No.5	銭函市民センター	令和8年度に「改修」	令和11年度「除却」、 令和12年度及び第2期に「建替え」
No.7	小樽市民センター	第3期に「長寿命化改修」	令和8年度、11年度、12年度及び 第2期に「改修」を追加
No.14	図書館	令和5年度に「長寿命化改修」	「第2期」に「長寿命化改修」
No.22 No.23	おたる自然の村 (管理棟)	令和7年度に「改修」	「第2期」に「改修」
	(農林漁業体験実習館)	令和8年度に「長寿命化改修」	「第2期」に「長寿命化改修」
No.28	手宮保育所	令和6年度に「建替え」	「第2期」に「建替え」
No.29	塩谷児童センター	令和4年度に「移転」及び 令和5年度に「改修」	当面「維持」
No.35	旧総合福祉センター	「維持」	令和8年度～9年度に 「除却」を追加
No.36	旧保健所庁舎	「別途計画による」	令和8年度～9年度に 「除却」を追加
No.46	銭函サービスセンター	令和9年度に「移転」及び 令和10年度に「廃止」	「第2期」に「移転」及び「廃止」
No.48	塩谷サービスセンター	令和6年度に「移転」 令和7年度に「廃止」	当面「維持」
No.55	消防オタモイ支署 蘭島支所	令和7年度に「長寿命化改修」	「第2期」に「長寿命化改修」
No.73 No.74	旧高島魚揚場（上屋） 旧高島魚揚場（事務所）	第2期に「改修」	令和10年度に「除却」
No.84	旧北山中学校（校舎）	「管理」	令和9年度に「除却」
No.87	旧末広中学校 （校舎・体育館）	「管理」	令和10年度～11年度に「除却」

1-4 対象施設

本市が保有する公共施設のうち、「延べ床面積100㎡未満の建物」、「文化財・歴史的建造物」及び「公営住宅、学校、公園施設、港湾施設、供給処理施設など本計画とは別に個別施設計画」を策定する施設を除き、「再編計画」では、対象施設を120施設としておりましたが、スポーツ施設が別途、個別施設計画を策定することになり、また、「廃棄物最終処分場」が個別施設計画の対象外であること、さらに再編対象施設のうち、「於古発川店舗C棟」が令和2（2020）年度中に除却されたほか、新たに建設された施設があったことなどから、**令和7（2025）年11月現在**、本計画の対象は、下表1-2のとおり、**98**施設となります。

表 1-2 長寿命化計画の対象とする公共施設

	分類	施設名	施設数
対 象 区 分	市民文化系施設	小樽市民会館、勤労青少年ホーム、勤労青少年ホーム体育館、 小樽市民センター、銭函市民センター、いなきたコミュニティセンター（集会室・体育室）、 小樽駅前第二ビル公共プラザ、	<u>7</u>
	社会教育系施設	図書館、文学館・美術館、生涯学習プラザ、旧石山中学校、旧北手宮小学校、 総合博物館（蒸気機関車資料館、機関車庫1号（増築部分）、イベントハウス、 収蔵庫A、収蔵庫C、鉄道・科学・歴史館）、手宮洞窟保存館、	12
	スポーツ ・レクリエーション系施設	総合体育館、 おたる自然の村管理棟、おたる自然の村農林漁業体験実習館	3
	産業系施設	事業内職業訓練センター、産業会館、旧堺小学校内貸付部分、 <u>観光船ターミナル（旧小樽 市内航船客待合所ほか）</u>	<u>4</u>
	学校教育系施設	学校給食センター	1
	子育て支援施設	手宮保育所、最上保育所、赤岩保育所、奥沢保育所、銭函保育所、 地域子育て支援センターげんき、塩谷児童センター、 <u>とみおか児童館、銭函小学校放課後児 童クラブ</u>	<u>9</u>
	保健・福祉施設	保健所庁舎、総合福祉センター、身体障害者福祉センター、 生活サポートセンター、こども発達支援センター、さくら学園、花園ビル内 貸付部分	7
	医療施設	伝染病隔離病舎、小樽市夜間急病センター	2
	行政系施設	本庁舎別館、本庁舎自動車車庫（海側1）、本庁舎自動車車庫（山側）、 教育委員会庁舎、教育委員会庁舎付属体育館、観光振興室庁舎、 建設事業室庁舎、建設事業室庁舎（重機車庫）、 建設事業室土木資材倉庫（塩谷・幸地区1）、 塩谷サービスセンター、銭函サービスセンター、堺小学校記念室、 消防本部庁舎、消防訓練塔、市民消防防災研修センター、消防本部整備工場、 消防署、消防署手宮出張所、消防署高島支所、消防署銭函支署、消防署朝里出張所、 消防署オタモイ支署、消防署オタモイ支署蘭島支所、 清掃事業所、清掃事業所第1車庫、清掃事業所第2車庫、清掃事業所第2事務所、 旧廃棄物処理場車庫、旧廃棄物処理場破砕ごみ搬出設備施設、 <u>港湾管理事務所</u>	<u>30</u>
	その他	旧高島魚揚場（上屋、事務所）、 公設水産地方卸売市場（上屋、検量施設、卸売場、排水処理施設）、 公設青果地方卸売市場（市場、冷蔵庫、倉庫） 葬斎場、旧北海道小樽商業高校、 いなきたコミュニティセンター（駐車場）、小樽駅前第一ビル、 倉庫（健康増進課）1、倉庫（健康増進課）2、 旧松ヶ枝中学校、旧北山中学校、旧塩谷中学校、旧末広中学校、旧天神小学校、 旧豊倉小学校、旧祝津小学校、旧色内小学校	23
	合 計		<u>98</u>

2-2 財政の状況

本市の一般会計の決算については、「実質収支」は、22年度に累積赤字を解消して以降、15年連続で黒字となりました。また、前年度の実質収支を差し引いた「単年度収支」は3年連続で赤字、財政調整基金の積立で・取崩し等を考慮した「実質単年度収支」は、2年度以来の赤字となりました。

公共施設長寿命化計画における第1期計画期間の前半（R3～7）は、設備等の老朽度、緊急度が高まり、計画以外に優先して改修する必要が生じたものや、計画策定後に整備方針が決定し実施したものなど、計画していた整備以外にも必要と判断した事業を実施した結果、普通建設事業費が増加しました。これについては、市債などの財源を活用することにより、当該事業実施年度の財政負担を可能な限り抑えましたが、後年度の元利償還金の返済に伴う財政への負担増の影響が発生します。また、計画後半（R8～）についても、計画の見直しに伴い、普通建設事業費の増加が見込まれます。このため、計画前半の普通建設事業費の増加分の影響も踏まえ、後年度の負担が過大にならないよう、今後も毎年度の普通建設事業費の平準化や規模等を精査してまいります。

表 2-2 一般会計の決算状況

	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
実質収支	1,922	663	221	216	141	166	1,695	1,441	1,285	200
単年度収支	1,422	▲1,259	▲442	▲5	▲75	25	1,529	▲254	▲156	▲1,084
実質単年度収支 (ア)	1,744	▲298	▲410	▲194	▲517	▲155	1,612	598	564	▲817
(参考) 財政調整基金繰入金	-	-	300	300	550	250	-	-	-	380

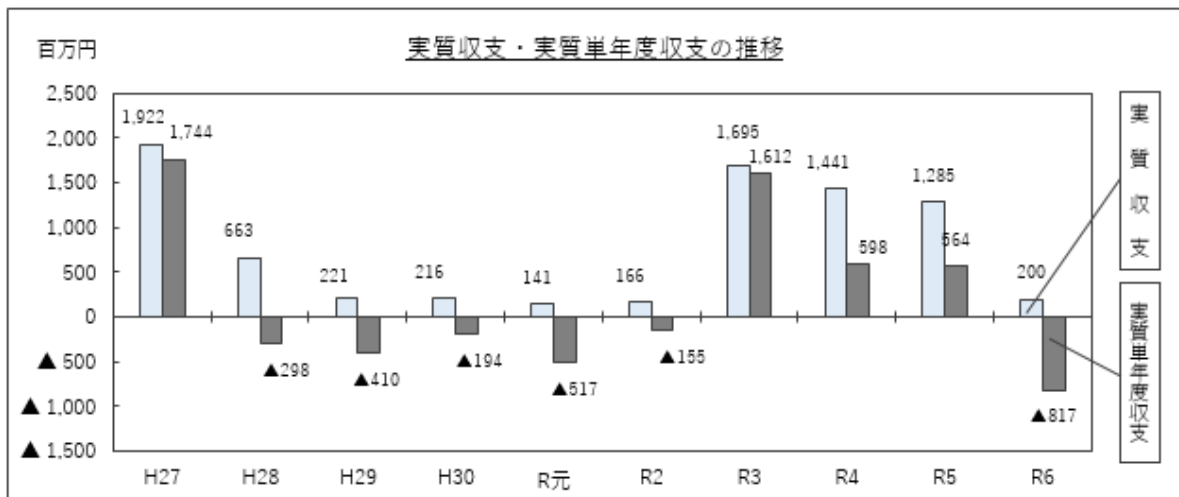


図 2-3 実質収支・実質単年度収支の推移

実質収支：歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額

単年度収支：当該年度の実質収支から前年度の実質収支（前年度繰越金）を差し引いた額

実質単年度収支：単年度収支に財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額を加え、財政調整基金の取崩額を差し引いた額

財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

施設一覧（令和7年11月末現在）

『市民文化系施設』

市民文化系施設は8か所あり、その半数が市内中心部に存在しています。

このうち、耐用年数の半分を経過した施設が6か所あります。

また、小樽市民会館、勤労青少年ホーム、銭函市民センター、小樽市民センター及びいなきたコミュニティセンターは、避難所に指定されています。

表 4-2 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
1	● 小樽市民会館	A	昭和38年 (1963)	×	56年	4年	●	RC	60年	第1期	改修
2	● 勤労女性センター	B	昭和49年 (1974)	△	45年	15年	—	RC	60年	第2期	統合化 又は複合化
3	● 勤労青少年ホーム	B	昭和42年 (1967)	—	52年	8年	●	RC	60年	第2期	統合化 又は複合化
4	● 勤労青少年ホーム体育館	B	昭和45年 (1970)	—	49年	11年	●	SRC	60年	第2期	統合化 又は複合化
5	● 銭函市民センター	B	昭和50年 (1975)	—	44年	16年	●	RC	60年	第1期	改修
6	小樽駅前第二ビル公共プラザ	C	昭和49年 (1974)	△	45年	15年	—	SRC	60年	—	維持
7	小樽市民センター	D	平成7年 (1995)	○	24年	36年	●	RC	60年	第3期	長寿命化改修
8	いなきたコミュニティセンター (集会室・体育室)	D	平成11年 (1999)	○	20年	40年	●	SRC	60年	—	維持

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） × … 耐震性不足
△ … 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『市民文化系施設』

市民文化系施設は7か所あり、その半数が市内中心部に存在しています。

このうち、耐用年数の半分を経過した施設が6か所あります。

また、小樽市民会館、勤労青少年ホーム、銭函市民センター、小樽市民センター及びいなきたコミュニティセンターは、避難所に指定されています。

表 4-2 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
1	● 小樽市民会館	A	昭和38年 (1963)	×	62年	▲2年	●	RC	60年	第1期	改修
※旧勤労女性センターは、とみおか児童館として使用しているため「市民文化系施設」から「子育て支援施設」へ移管しました。											
3	● 勤労青少年ホーム	B	昭和42年 (1967)	—	58年	2年	●	RC	60年	第2期	統合化 又は複合化
4	● 勤労青少年ホーム体育館	B	昭和45年 (1970)	—	55年	5年	●	SRC	60年	第2期	統合化 又は複合化
5	● 銭函市民センター	B	昭和50年 (1975)	—	50年	10年	●	RC	60年	第1期	建替え
6	小樽駅前第二ビル公共プラザ	C	昭和49年 (1974)	△	51年	9年	—	SRC	60年	—	維持
7	小樽市民センター	D	平成7年 (1995)	○	30年	30年	●	RC	60年	第1期	改修
8	いなきたコミュニティセンター (集会室・体育室)	D	平成11年 (1999)	○	26年	34年	●	SRC	60年	—	維持

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） × … 耐震性不足
△ … 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『社会教育系施設』

社会教育系施設は12か所あり、このうち、耐用年数の半分を経過した施設が4か所あります。

表 4-3 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
9	● 文学館・美術館	B	昭和27年 (1952)	△	67年	▲7年	—	RC	60年	第1期	改修
10	● 旧北手宮小学校 (校舎・体育館)	B	昭和54年 (1979)	△	40年	20年	—	RC	60年	第1期	改修
11	● 旧石山中学校 (石山収蔵庫)	B	昭和32年 (1957)	—	62年	▲2年	—	RC	60年	第1期	移転後、廃止
12	● 生涯学習プラザ	B	平成7年 (1995)	○	24年	36年	—	RC	60年	第1期	移転
13	総合博物館 蒸気機関車資料館	C	昭和15年 (1940)	—	79年	▲19年	—	RC	60年	第1期	改修
14	図書館	D	昭和57年 (1982)	○	37年	23年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
15	総合博物館 機関車庫1号 (増築部分)	D	平成7年 (1995)	○	24年	26年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
16	総合博物館 イベントハウス	D	平成7年 (1995)	○	24年	26年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
17	総合博物館 収蔵庫C	D	平成7年 (1995)	○	24年	26年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
18	手宮洞窟保存館	D	平成6年 (1994)	○	25年	35年	—	RC	60年	第2期	長寿命化改修
19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	D	平成7年 (1995)	○	24年	36年	—	SRC	60年	第1期	長寿命化改修
20	総合博物館 収蔵庫A	D	平成18年 (2006)	○	13年	37年	—	S	50年	第3期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『社会教育系施設』

社会教育系施設は12か所あり、このうち、耐用年数の半分を経過した施設が10か所あります。

表 4-3 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
9	● 文学館・美術館	B	昭和27年 (1952)	△	73年	▲13年	—	RC	60年	第1期	改修
10	● 旧北手宮小学校 (校舎・体育館)	B	昭和54年 (1979)	△	46年	14年	—	RC	60年	第1期	改修
11	● 旧石山中学校 (石山収蔵庫)	B	昭和32年 (1957)	—	68年	▲8年	—	RC	60年	—	管理
12	● 生涯学習プラザ	B	平成7年 (1995)	○	30年	30年	—	RC	60年	—	維持
13	総合博物館 蒸気機関車資料館	C	昭和15年 (1940)	—	85年	▲25年	—	RC	60年	第1期	改修
14	図書館	D	昭和57年 (1982)	○	43年	17年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
15	総合博物館 機関車庫1号 (増築部分)	D	平成7年 (1995)	○	30年	20年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
16	総合博物館 イベントハウス	D	平成7年 (1995)	○	30年	20年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
17	総合博物館 収蔵庫C	D	平成7年 (1995)	○	30年	20年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修
18	手宮洞窟保存館	D	平成6年 (1994)	○	31年	29年	—	RC	60年	第2期	長寿命化改修
19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	D	平成7年 (1995)	○	30年	30年	—	SRC	60年	第1期	長寿命化改修
20	総合博物館 収蔵庫A	D	平成18年 (2006)	○	19年	31年	—	S	50年	第3期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『スポーツ・レクリエーション系施設』

スポーツ・レクリエーション系施設は3か所あり、全ての施設が耐用年数の半分を経過しています。
また、総合体育館は、避難所に指定されています。

表 4-4 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震診断	築年数	残耐用年数	避難所の指定	構造	設定耐用年数	実施時期	現施設の整備方針
21	● 総合体育館	A	昭和49年 (1974)	×	45年	15年	●	SRC	60年		別途計画による
22	おたる自然の村 管理棟	D	昭和60年 (1985)	○	34年	16年	—	S	50年	第1期	改修
23	おたる自然の村 農林漁業体験実習館	D	昭和62年 (1987)	○	32年	18年	—	S	50年	第1期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『スポーツ・レクリエーション系施設』

スポーツ・レクリエーション系施設は3か所あり、全ての施設が耐用年数の半分を経過しています。
また、総合体育館は、避難所に指定されています。

表 4-4 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震診断	築年数	残耐用年数	避難所の指定	構造	設定耐用年数	実施時期	現施設の整備方針
21	● 総合体育館	A	昭和49年 (1974)	×	51年	9年	●	SRC	60年		別途計画による
22	おたる自然の村 管理棟	D	昭和60年 (1985)	○	40年	10年	—	S	50年	第2期	改修
23	おたる自然の村 農林漁業体験実習館	D	昭和62年 (1987)	○	38年	12年	—	S	50年	第2期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『産業系施設』

産業系施設は3か所あり、耐用年数を超える又は残り数年となっています。また、旧堺小学校は、避難所に指定されています。

表 4-5 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
24	● 事業内職業訓練センター (旧堺小学校内)	B	昭和37年 (1962)	△	57年	3年	●	RC	60年	第1期	移転
25	● 産業会館	B	昭和31年 (1956)	○	63年	▲3年	—	RC	60年	第1期	改修
26	旧堺小学校内 貸付部分	C	昭和37年 (1962)	△	57年	3年	●	RC	60年	第1期	移転

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『産業系施設』

産業系施設は4か所あり、**観光船ターミナルを除いた全ての施設が耐用年数を経過しています。**

表 4-5 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
24	● 事業内職業訓練センター (旧天樟小学校内)	C	昭和54年 (1979)	△	46年	14年	—	RC	60年	—	維持
25	● 産業会館	B	昭和31年 (1956)	○	69年	▲9年	—	RC	60年	第1期	改修
26	旧堺小学校内 貸付部分	C	昭和37年 (1962)	△	63年	▲3年	—	RC	60年	—	管理
97	● 観光船ターミナル(旧小樽市 内航船客符合所ほか)	D	令和7年 (2025)	○	0年	50年	—	S	50年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和Z（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『学校教育系施設』

学校教育系施設として、学校給食センターがあり、平成25（2013）年に建築された新しい施設です。

表 4-6 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
27	学校給食センター	D	平成25年 (2013)	○	6年	44年	—	S	50年	第3期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『学校教育系施設』

学校教育系施設として、学校給食センターがあり、平成25（2013）年に建築された新しい施設です。

表 4-6 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
27	学校給食センター	D	平成25年 (2013)	○	12年	38年	—	S	50年	第3期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『子育て支援施設』

子育て支援施設は7か所あり、このうち、耐用年数の半分を経過した施設が3か所あります。
また、手宮、赤岩、奥沢、銭函の各保育所は避難所に指定されています。

表 4-7 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グ ル ー プ 優 先 度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
※旧勤労女性センターは、とみおか児童館として使用しているため「市民文化系施設」から「子育て支援施設」へ移管しました。											
28	● 手宮保育所	B	昭和50年 (1975)	△	44年	16年	●	RC	60年	第1期	建替え
29	● 塩谷児童センター	B	昭和57年 (1982)	○	37年	13年	—	S	50年	第1期	移転、 改修
30	● 最上保育所	B	昭和51年 (1976)	○	43年	17年	—	RC	60年	第2期	建替え
31	地域子育て支援センターげんき (奥沢保育所隣接)	D	平成12年 (2000)	○	19年	21年	●	W	40年	第4期	改修
32	赤岩保育所 地域子育て支援センター風の子	D	平成15年 (2003)	○	18年	42年	●	RC	60年	第2期	長寿命化改修
33	奥沢保育所	D	平成25年 (2013)	○	6年	54年	●	RC	60年	第4期	長寿命化改修
34	銭函保育所 地域子育て支援センターあそぼ	D	平成26年 (2014)	○	5年	55年	●	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『子育て支援施設』

子育て支援施設は9か所あり、このうち、耐用年数の半分を経過した施設が5か所あります。
また、手宮、赤岩、奥沢、銭函の各保育所は避難所に指定されています。

表 4-7 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グ ル ー プ 優 先 度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
2	● とみおか児童館 (旧勤労女性センター)	B	昭和49年 (1974)	△	51年	9年	—	RC	60年	—	維持
28	● 手宮保育所	B	昭和50年 (1975)	△	50年	10年	●	RC	60年	第2期	建替え
29	● 塩谷児童センター	B	昭和57年 (1982)	○	43年	7年	—	S	50年	—	維持
30	● 最上保育所	B	昭和51年 (1976)	○	49年	11年	—	RC	60年	第2期	廃止
31	地域子育て支援センターげんき (奥沢保育所隣接)	D	平成12年 (2000)	○	25年	15年	●	W	40年	第4期	改修
32	赤岩保育所 地域子育て支援センター風の子	D	平成13年 (2001)	○	24年	36年	●	RC	60年	第2期	長寿命化改修
33	奥沢保育所	D	平成25年 (2013)	○	12年	48年	●	RC	60年	第4期	長寿命化改修
34	銭函保育所 地域子育て支援センターあそぼ	D	平成26年 (2014)	○	11年	49年	●	RC	60年	第4期	長寿命化改修
96	銭函小学校放課後児童クラ ブ	D	令和5年 (2023)	○	2年	38年	—	W	40年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『保健・福祉施設』

保健・福祉施設は7か所あり、全ての施設が耐用年数の半分を経過しています。
また、こども発達支援センターがある教育委員会庁舎は避難所に指定されています。

表 4-8 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
35	● 総合福祉センター	A	昭和45年 (1970)	×	49年	11年	—	RC	60年	—	維持
36	● 保健所庁舎	A	昭和47年 (1972)	×	47年	13年	—	RC	60年	別途計画による	
37	● 生活サポートセンター (花園ビル内)	B	昭和36年 (1961)	△	58年	2年	—	RC	60年	第1期	移転
38	● こども発達支援センター (教育委員会庁舎内)	B	昭和56年 (1981)	△	38年	22年	●	RC	60年	第1期	移転、 複合化
39	● 身体障害者福祉センター	B	昭和56年 (1981)	—	38年	22年	—	RC	60年	—	維持
40	● さくら学園	B	昭和62年 (1987)	○	32年	28年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
41	花園ビル内 貸付部分	C	昭和36年 (1961)	△	58年	2年	—	RC	60年	第1期	移転

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『保健・福祉施設』

保健・福祉施設は7か所あり、全ての施設が耐用年数の半分を経過しています。

表 4-8 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
35	● 旧 総合福祉センター	A	昭和45年 (1970)	×	55年	5年	—	RC	60年	第1期	除却
36	● 旧 保健所庁舎	A	昭和47年 (1972)	×	53年	7年	—	RC	60年	第1期	除却
37	● 生活サポートセンター (花園ビル内)	B	昭和36年 (1961)	△	64年	▲4年	—	RC	60年	第1期	除却
38	● こども発達支援センター (教育委員会庁舎内)	B	昭和55年 (1980)	○	45年	15年	—	RC	60年	第2期	改修
39	● 身体障害者福祉センター	B	昭和56年 (1981)	—	44年	16年	—	RC	60年	—	維持
40	● さくら学園	B	昭和62年 (1987)	○	38年	22年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
41	花園ビル内 貸付部分	C	昭和36年 (1961)	△	64年	▲4年	—	RC	60年	第1期	除却

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『医療施設』

医療施設は、伝染病隔離病舎と小樽市夜間急病センターの2か所あります。

表 4-9 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
42	伝染病隔離病舎(長橋)	C	昭和56年 (1981)	—	38年	22年	—	RC	60年	—	管理
43	小樽市夜間急病センター	D	平成25年 (2013)	○	6年	54年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『医療施設』

医療施設は、伝染病隔離病舎と小樽市夜間急病センターの2か所あります。

表 4-9 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
42	伝染病隔離病舎(長橋)	C	昭和56年 (1981)	—	44年	16年	—	RC	60年	—	管理
43	小樽市夜間急病センター	D	平成25年 (2013)	○	12年	48年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『行政系施設（庁舎等）』

行政系施設（庁舎等）は6か所あり、全ての施設が耐用年数の半分を経過しています。
また、教育委員会庁舎、銭函サービスセンター及び塩谷サービスセンターは、避難所に指定されています。

表 4-10 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
44	● 本庁舎別館	A	昭和37年 (1962)	×	57年	3年	—	RC	60年	別途計画による	
45	● 教育委員会庁舎	B	昭和56年 (1981)	△	38年	22年	●	RC	60年	第1期	改修
46	● 銭函サービスセンター	B	昭和48年 (1973)	—	46年	14年	●	RC	60年	第1期	移転、 複合化
47	● 建設事業室庁舎	B	昭和49年 (1974)	—	45年	15年	—	RC	60年	第1期	移転
48	● 塩谷サービスセンター	B	昭和53年 (1978)	—	41年	19年	●	RC	60年	第1期	移転
49	● 観光振興室庁舎	C	昭和56年 (1981)	—	38年	22年	—	RC	60年	第2期	改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『行政系施設（庁舎等）』

行政系施設（庁舎等）は7か所あり、**港湾管理事務所を除いた全ての施設**が耐用年数の半分を経過しています。また、建設部庁舎、銭函サービスセンター及び塩谷サービスセンターは、避難所に指定されています。

表 4-10 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
44	● 本庁舎別館	A	昭和37年 (1962)	×	63年	▲3年	—	RC	60年	別途計画による	
45	● 建設部庁舎 <small>(旧教育委員会庁舎)</small>	B	昭和56年 (1981)	△	44年	16年	●	RC	60年	第1期	改修
46	● 銭函サービスセンター	B	昭和48年 (1973)	—	52年	8年	●	RC	60年	第2期	移転、 廃止
47	● 旧建設事業室庁舎	B	昭和49年 (1974)	—	51年	9年	—	RC	60年	—	管理
48	● 塩谷サービスセンター	B	昭和53年 (1978)	—	47年	13年	●	RC	60年	—	維持
49	● 観光振興室庁舎	C	昭和56年 (1981)	—	44年	16年	—	RC	60年	第2期	改修
98	● 港湾管理事務所	D	令和7年 (2025)	○	0年	60年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○…新耐震基準 —…不要・対象外（耐震改修促進法上） ×…耐震性不足
△…未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造 RC…鉄筋コンクリート造 S…鉄骨造 LGS…軽量鉄骨造
CB…コンクリートブロック造 W…木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『行政系施設（消防施設）』

行政系施設（消防施設）は11か所あり、耐用年数の半分を経過した施設が6か所あります。また、市民消防防災研修センターは、避難所に指定されています。

表 4-11 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
50	● 消防本部整備工場 (花園ビル内)	B	昭和36年 (1961)	△	58年	2年	—	SRC	60年	第1期	除却
51	● 消防署手宮出張所	B	昭和45年 (1970)	—	49年	11年	—	RC	60年	第1期	統合化
52	● 消防署高島支所	B	昭和46年 (1971)	—	48年	12年	—	RC	60年	第1期	統合化
53	● 消防本部庁舎	B	昭和58年 (1983)	○	36年	24年	—	RC	60年	第2期	長寿命化改修
54	消防訓練塔	D	平成2年 (1990)	○	29年	21年	—	S	50年	第1期	改修
55	消防署オタモイ支署蘭島支所	D	昭和61年 (1986)	○	33年	27年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
56	市民消防防災研修センター	D	平成2年 (1990)	○	29年	31年	●	RC	60年	第1期	長寿命化改修
57	消防署	D	平成6年 (1994)	○	25年	35年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
58	消防署銭函支署	D	平成10年 (1998)	○	21年	39年	—	RC	60年	第3期	長寿命化改修
59	消防署朝里出張所	D	平成21年 (2009)	○	10年	50年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修
60	消防署オタモイ支署	D	平成29年 (2017)	○	2年	58年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 —… 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『行政系施設（消防施設）』

行政系施設（消防施設）は、既に売却した消防署高島支所及び手宮出張所を除いて10か所あり、耐用年数の半分を経過した施設が5か所あります。また、市民消防防災研修センターは、避難所に指定されています。

表 4-11 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
50	● 消防本部整備工場 (花園ビル内)	B	昭和36年 (1961)	△	64年	▲4年	—	SRC	60年	第1期	除却
51	● 消防署手宮出張所	B	昭和45年 (1970)	—	55年	5年	—	RC	60年	—	(売却済み)
	消防署手宮支署	D	令和3年 (2021)	○	4年	56年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修
52	● 消防署高島支所	B	昭和46年 (1971)	—	54年	6年	—	RC	60年	—	(売却済み)
53	● 消防本部庁舎	B	昭和58年 (1983)	○	42年	18年	—	RC	60年	第1期	改修
54	消防訓練塔	D	平成2年 (1990)	○	35年	15年	—	S	50年	第1期	改修
55	消防署オタモイ支署蘭島支所	D	昭和61年 (1986)	○	39年	21年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
56	市民消防防災研修センター	D	平成2年 (1990)	○	35年	25年	●	RC	60年	第1期	長寿命化改修
57	消防署	D	平成6年 (1994)	○	31年	29年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
58	消防署銭函支署	D	平成10年 (1998)	○	27年	33年	—	RC	60年	第3期	長寿命化改修
59	消防署朝里出張所	D	平成21年 (2009)	○	16年	44年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修
60	消防署オタモイ支署	D	平成29年 (2017)	○	8年	52年	—	RC	60年	第4期	長寿命化改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○… 新耐震基準 —… 不要・対象外（耐震改修促進法上） ×… 耐震性不足
△… 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC… 鉄筋コンクリート造 S… 鉄骨造 LGS… 軽量鉄骨造
CB… コンクリートブロック造 W… 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『その他行政系施設』

その他行政系施設は12か所あり、耐用年数の半分を経過した施設が11か所あります。
また、旧堺小学校（堺小学校記念室）及び教育委員会庁舎附属体育館は、避難所に指定されています。

表 4-12 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
61	● 堺小学校記念室 (旧堺小学校内)	B	昭和37年 (1962)	△	57年	3年	●	RC	60年	第1期	移転
62	● 教育委員会庁舎附属体育館	B	昭和56年 (1981)	△	38年	12年	●	S	50年	第1期	改修
63	● 本庁舎自動車庫 (海側1)	B	昭和44年 (1969)	—	50年	▲5年	—	LGS	45年	別途計画による	
64	● 建設事業室庁舎 (重機車庫)	B	昭和49年 (1974)	—	45年	5年	—	S	50年	第1期	移転
65	● 建設事業室土木資材倉庫 (塩谷・幸地区1)	B	昭和56年 (1981)	—	38年	7年	—	LGS	45年	第1期	移転
66	● 本庁舎自動車庫 (山側)	B	昭和57年 (1982)	—	37年	8年	—	LGS	45年	別途計画による	
67	清掃事業所 第1車庫 (天神)	C	昭和42年 (1967)	—	52年	▲2年	—	S	50年	第1期	移転、除却
68	清掃事業所 第2車庫 (天神)	C	昭和47年 (1972)	—	47年	3年	—	S	50年	第1期	廃止、除却
69	清掃事業所 第2事務所 (天神)	C	昭和47年 (1972)	—	47年	3年	—	S	50年	第1期	廃止、除却
70	旧廃棄物処理場車庫 (伍助沢)	C	昭和52年 (1977)	—	42年	8年	—	S	50年	第1期	廃止、管理
71	旧廃棄物処理場 破砕ごみ搬出設備施設 (伍助沢)	D	昭和63年 (1988)	○	31年	19年	—	S	50年	第1期	廃止、管理
72	清掃事業所 (天神)	D	平成25年 (2013)	○	6年	39年	—	LGS	45年	第1期	移転
※旧天神小学校は、清掃事業所として使用しているため「その他」から「その他行政系施設」へ移管しました。											
※旧北海道小樽商業高校は、教育委員会庁舎として使用しているため「その他」から「その他行政系施設」へ移管しました。											

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元（2019）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） × … 耐震性不足
△ … 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『その他行政系施設』

その他行政系施設は、既に除却した清掃事業所 第2車庫（天神）及び清掃事業所 第2事務所（天神）を除いて12か所あり、耐用年数の半分を経過した施設が11か所あります。
また、建設部（旧教育委員会）庁舎附属体育館は、避難所に指定されています。

表 4-12 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	優先度 グループ	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
61	● 堺小学校記念室 (旧堺小学校内)	B	昭和37年 (1962)	△	63年	▲3年	●	RC	60年	—	管理
62	● 建設部（旧教育委員会）庁 舎附属体育館	B	昭和56年 (1981)	△	44年	6年	●	S	50年	—	維持
63	● 本庁舎自動車庫 (海側1)	B	昭和44年 (1969)	—	56年	▲11年	—	LGS	45年	別途計画による	
64	● 建設事業室庁舎 (重機車庫)	B	昭和49年 (1974)	—	51年	▲1年	—	S	50年	—	管理
65	● 建設事業室土木資材倉庫 (塩谷・幸地区1)	B	昭和56年 (1981)	—	44年	1年	—	LGS	45年	—	維持
66	● 本庁舎自動車庫 (山側)	B	昭和57年 (1982)	—	43年	2年	—	LGS	45年	別途計画による	
67	清掃事業所 第1車庫 (天神)	C	昭和42年 (1967)	—	58年	▲8年	—	S	50年	第1期	除却
68	清掃事業所 第2車庫 (天神)	C	昭和47年 (1972)	—	53年	▲3年	—	S	50年	—	(除却済み)
69	清掃事業所 第2事務所 (天神)	C	昭和47年 (1972)	—	53年	▲3年	—	S	50年	—	(除却済み)
70	旧廃棄物処理場車庫 (伍助沢)	C	昭和52年 (1977)	—	48年	2年	—	S	50年	第1期	廃止、管理
71	旧廃棄物処理場 破砕ごみ搬出設備施設 (伍助沢)	D	昭和63年 (1988)	○	37年	13年	—	S	50年	第1期	廃止、管理
72	旧清掃事業所 (天神)	D	平成25年 (2013)	○	12年	33年	—	LGS	45年	—	管理
88	清掃事業所 (旧天神小学 校)	C	昭和54年 (1979)	△	46年	14年	—	RC	60年	—	維持
91	教育委員会庁舎 (旧北海道小樽商業高校)	C	昭和55年 (1980)	○	45年	15年	—	RC	60年	第2期	改修

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7（2025）年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外（耐震改修促進法上） × … 耐震性不足
△ … 未実施（昭和56（1981）年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設）

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

『その他』

その他は23か所あり、このうち、耐用年数の半分を経過した施設が20か所あります。
また、旧豊倉小学校及び旧祝津小学校は、避難所に指定されています。

表 4-13 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
73	● 旧高島魚揚場 (上屋)	B	昭和35年 (1960)	—	59年	1年	—	RC	60年	第2期	改修
74	● 旧高島魚揚場 (事務所)	B	昭和35年 (1960)	—	59年	1年	—	RC	60年	第2期	改修
75	● 公設水産地方卸売市場 (上屋)	B	昭和51年 (1976)	—	43年	7年	—	S	50年	第2期	統合化
76	● 公設水産地方卸売市場 (検量施設)	B	昭和51年 (1976)	—	43年	7年	—	S	50年	第2期	建替え
77	● 公設水産地方卸売市場 (卸売場)	B	昭和52年 (1977)	—	42年	8年	—	S	50年	第2期	統合化
78	● 公設青果地方卸売市場 (倉庫)	B	昭和52年 (1977)	—	42年	8年	—	S	50年	第3期	改修
79	● 公設水産地方卸売市場 (排水処理施設)	B	昭和53年 (1978)	—	41年	9年	—	CB	50年	第2期	除却
80	● 公設青果地方卸売市場 (市場)	B	昭和47年 (1972)	—	47年	13年	—	RC	60年	第3期	改修
81	● 公設青果地方卸売市場 (冷蔵庫)	B	昭和47年 (1972)	—	47年	13年	—	RC	60年	第3期	改修
82	● 葬斎場	B	平成3年 (1991)	○	28年	32年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
83	旧松ヶ枝中学校 (校舎・体育館)	C	昭和31年 (1956)	△	63年	▲3年	—	RC	60年	—	管理
84	旧北山中学校 (校舎)	C	昭和33年 (1958)	△	61年	▲1年	—	RC	60年	—	管理
85	小樽駅前第一ビル	C	昭和48年 (1973)	△	46年	14年	—	SRC	60年	—	維持
86	旧塩谷中学校 (校舎・体育館)	C	昭和48年 (1973)	△	46年	14年	—	RC	60年	—	管理
87	旧末広中学校 (校舎・体育館)	C	昭和54年 (1979)	△	40年	20年	—	RC	60年	—	管理
88	旧天神小学校 (校舎・体育館)	C	昭和54年 (1979)	△	40年	20年	—	RC	60年	—	管理
89	倉庫 (健康増進課) 1 (長橋)	C	昭和31年 (1956)	—	63年	▲13年	—	CB	50年	—	管理
90	倉庫 (健康増進課) 2 (長橋)	C	昭和31年 (1956)	—	63年	▲13年	—	CB	50年	—	管理
91	旧北海道小樽商業高校	C	昭和55年 (1980)	○	39年	21年	—	RC	60年	第1期	改修
92	旧豊倉小学校 (校舎・体育館)	D	昭和57年 (1982)	○	37年	23年	●	RC	60年	—	維持
93	旧祝津小学校 (校舎・体育館・クラブハウス)	D	昭和62年 (1987)	○	32年	28年	●	RC	60年	—	維持
94	旧色内小学校 (校舎・体育館・クラブハウス)	D	平成2年 (1990)	○	29年	31年	—	RC	60年	—	管理
95	いなきたコミュニティセンター (駐車場)	D	平成11年 (1999)	○	20年	40年	—	SRC	60年	—	維持

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和元 (2019) 年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外 (耐震改修促進法上) × … 耐震性不足
△ … 未実施 (昭和56 (1981) 年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設)

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。



『その他』

その他は、既に除却した倉庫 (健康増進課) 1 及び 2、旧色内小学校 (校舎・体育館・クラブハウス) を除いて18か所あり、耐用年数の半分を経過した施設が17か所あります

表 4-13 施設一覧

No.	施設名 (●は、再編対象施設)	グループ 優先度	建築年	耐震 診断	築年数	残耐用 年数	避難所 の指定	構造	設定 耐用 年数	実施時期	現施設の 整備方針
73	● 旧高島魚揚場 (上屋)	B	昭和35年 (1960)	—	65年	▲5年	—	RC	60年	第1期	除却
74	● 旧高島魚揚場 (事務所)	B	昭和35年 (1960)	—	65年	▲5年	—	RC	60年	第1期	除却
75	● 公設水産地方卸売市場 (上屋)	B	昭和51年 (1976)	—	49年	1年	—	S	50年	第2期	統合化
76	● 公設水産地方卸売市場 (検量施設)	B	昭和51年 (1976)	—	49年	1年	—	S	50年	第2期	建替え
77	● 公設水産地方卸売市場 (卸売場)	B	昭和52年 (1977)	—	48年	2年	—	S	50年	第2期	統合化
78	● 公設青果地方卸売市場 (倉庫)	B	昭和52年 (1977)	—	48年	2年	—	S	50年	—	維持
79	● 公設水産地方卸売市場 (排水処理施設)	B	昭和53年 (1978)	—	47年	3年	—	CB	50年	第2期	除却
80	● 公設青果地方卸売市場 (市場)	B	昭和47年 (1972)	—	53年	7年	—	RC	60年	—	維持
81	● 公設青果地方卸売市場 (冷蔵庫)	B	昭和47年 (1972)	—	53年	7年	—	RC	60年	—	維持
82	● 葬斎場	B	平成3年 (1991)	○	34年	26年	—	RC	60年	第1期	長寿命化改修
83	旧松ヶ枝中学校 (校舎・体育館)	C	昭和31年 (1956)	△	69年	▲9年	—	RC	60年	—	管理
84	旧北山中学校 (校舎)	C	昭和33年 (1958)	△	67年	▲7年	—	RC	60年	第1期	除却
85	小樽駅前第一ビル	C	昭和48年 (1973)	△	52年	8年	—	SRC	60年	—	維持
86	旧塩谷中学校 (校舎・体育館)	C	昭和48年 (1973)	△	52年	8年	—	RC	60年	—	管理
87	旧末広中学校 (校舎・体育館)	C	昭和54年 (1979)	△	46年	14年	—	RC	60年	第1期	除却
※旧天神小学校は、清掃事業所として使用しているため「その他」から「その他行政系施設」へ移管しました。											
89	倉庫 (健康増進課) 1 (長橋)	C	昭和31年 (1956)	—	69年	▲19年	—	CB	50年	—	(除却済み)
90	倉庫 (健康増進課) 2 (長橋)	C	昭和31年 (1956)	—	69年	▲19年	—	CB	50年	—	(除却済み)
※旧北海道小樽商業高校は、教育委員会庁舎として使用しているため「その他」から「その他行政系施設」へ移管しました。											
92	旧豊倉小学校 (校舎・体育館)	D	昭和57年 (1982)	○	43年	17年	—	RC	60年	—	維持
93	旧祝津小学校 (校舎・体育館・クラブハウス)	D	昭和62年 (1987)	○	38年	22年	—	RC	60年	—	管理
94	旧色内小学校 (校舎・体育館・クラブハウス)	D	平成2年 (1990)	○	35年	25年	—	RC	60年	—	(除却済み)
95	いなきたコミュニティセンター (駐車場)	D	平成11年 (1999)	○	26年	34年	—	SRC	60年	—	維持

※「築年数」及び「残耐用年数」は、令和7 (2025) 年末時点で算出したものです。

※耐震診断 ○ … 新耐震基準 — … 不要・対象外 (耐震改修促進法上) × … 耐震性不足
△ … 未実施 (昭和56 (1981) 年5月以前の旧耐震基準適用と考えられる施設)

※構造 SRC … 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC … 鉄筋コンクリート造 S … 鉄骨造 LGS … 軽量鉄骨造
CB … コンクリートブロック造 W … 木造

※「実施時期」は、計画期間内に最初に行う対策が完了する時期を記載したものです。

対象施設の評価（令和7年11月末現在）

No.	施設名	整備方針 (直近のもの)	現在の記載	変更（案）
1	小樽市民会館	改修	<ul style="list-style-type: none"> 小樽市民会館は築 56 年の老朽施設であり、平成 26 (2014) 年度に実施した耐震診断において、必要とされる IS 値（構造耐震指標）「0.675 以上」に対し、これを下回る「0.080」との判定が示されており、耐震性能に課題があることから、整備実施の優先順位は高い施設です。 整備を行うに当たり、仮に現地建替えとする場合は、長期休館により市民活動の妨げにならないよう検討が必要なことや、他施設との複合化も視野に入れて検討する必要があり、引き続き行う整備方針の検討に時間を要することから、整備方針が定まるまで必要な保全を行っていくため、「第1期」において「改修」とし、「第2期」において「建替え」とする予定です。なお、多額の建設費を要することから、民間ノウハウを効果的に活用することも検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 小樽市民会館は<u>築 62 年が経過しているほか</u>、平成 26 (2014) 年度に実施した耐震診断において、必要とされる IS 値（構造耐震指標）「0.675 以上」に対し、これを下回る「0.080」<u>であったことから</u>、整備実施の優先順位は高い施設です。 <u>整備に当たっては、施設の状況から、「第1期」においては、令和3年度から計画的に進めている設備等の改修を継続し、「第2期」において、利用実態や将来の人口規模などを踏まえ、他施設との複合化も視野に「建替え」とする予定です。</u>
2	<u>とみおか児童館 (旧勤労女性センター)</u>	統合化又は 複合化 ↓ <u>維持</u>	<ul style="list-style-type: none"> 勤労女性センター内の放課後児童クラブは、生涯学習プラザが産業会館 2 階へ移転した後、生涯学習プラザ跡に移転するため、「第1期」において「移転」とします。 老朽化が進む勤労女性センターは、効率的な市民サービスの提供を図るためにも、同一の機能を有する「勤労青少年ホーム」等との統合化や、建物の更新費用の縮減の観点から他施設との複合化の検討が必要です。今後の整備方針は「第2期」において「統合化」又は「複合化」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤労女性センター内の放課後児童クラブは、<u>令和4年度、稲穂小学校内に「移転」しました。また、勤労女性センターは、令和7(2025)年度、ウイングベイ小樽4階へ「移転」しました。</u> <u>勤労女性センターの移転後は、「改修」の上、令和7(2025)年度から、とみおか児童館として活用していることから、当面は「維持」とします。なお、施設の老朽化が進んでいることから、今後、他施設との複合化も含め、整備方針の検討が必要</u>です。

3 4	勤労青少年ホーム 勤労青少年ホーム 体育館	統合化又は 複合化	<ul style="list-style-type: none"> 勤労女性センターと同様に、老朽化が進む勤労青少年ホームは、効率的な市民サービスの提供を図るためにも、同一の機能を有する「勤労女性センター」等との統合化や、建物の更新費用の縮減の観点から他施設との複合化の検討が必要です。今後の整備方針は「第2期」において「統合化」又は「複合化」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>勤労青少年ホームは、老朽化が進行していることから、令和5（2023）年度及び令和7（2025）年度において施設を維持するための必要最小限の改修を行いました。今後、子どもや若者の居場所としての機能を有する他施設との複合化などについて検討が必要です。そのため、整備方針は「第2期」において「統合化」又は「複合化」とする予定です。</u>
5	銭函市民センター	改修 ↓ <u>建替え</u>	<ul style="list-style-type: none"> 再編計画では、「銭函市民センターを改修し、銭函サービスセンターと消防団第15分団詰所を複合化する」としています。銭函市民センターは地域住民の活動拠点となっており、特に附属体育館の利用者が多いことから、「第1期」において「改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>築50年が経過し、老朽化が進んでおり、現在の施設を改修することは難しく、銭函地域の特性を踏まえ、当該地区の活動の拠点として整備していく必要があることから、「第1期」から「第2期」にかけて「建替え」とする予定です。</u>
6	小樽駅前第二ビル 公共プラザ	維持	<ul style="list-style-type: none"> 再開発により建設した商業ビルに整備した公共空間であることから、その必要性については、当該建物の再々開発の機運が高まった際に別途検討することとし、当面は「維持」とします。 	(変更なし)
7	小樽市民センター	長寿命化改修 ↓ <u>改修</u>	<ul style="list-style-type: none"> 平成7（1995）年に建築された比較的新しい施設であることから、「予防保全」を行い、計画的に長寿命化改修を行うことで延命化を図ります。今後の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成7（1995）年に建築され、<u>築30年が経過しているため、延命化を図る必要があることから、「第1期」から「第2期」にかけて、設備の「改修」を行い、「第3期」において施設の「長寿命化改修」とする予定です。</u>
8	いなきたコミュニ ティセンター（集 会室・体育室）	維持	<ul style="list-style-type: none"> 再開発により建設した商業ビルの一部であり、ビル全体の整備計画に沿って対策が講じられるため、当面は「維持」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和4（2022）年度、令和6（2024）年度及び令和7（2025）年度に設備等の「改修」を行いました。</u> 再開発により建設した商業ビルの一部であり、ビル全体の整備計画に沿って対策が講じられるため、当面は「維持」とします。

9	文学館・美術館	改修	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史景観区域に立地し、歴史的意義のある建物であることから、施設機能を維持する必要性が高い施設です。近年、設備更新や屋上防水工事を実施していますが、外壁等の「改修」を「第1期」に行い、「第2期」と「第4期」にも「改修」を予定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史景観区域に立地し、歴史的意義のある建物であることから、施設機能を維持する必要性が高い施設です。近年、設備更新や屋上防水工事を実施していますが、<u>令和3(2021)年度、令和5(2023)年度及び令和7(2025)年度に外壁や設備等の「改修」を行ったほか</u>、「第2期」と「第4期」にも「改修」を予定します。
10	旧北手宮小学校 (校舎・体育館)	改修	<ul style="list-style-type: none"> ・旧北手宮小学校は、今後も「博物館分室」として使用していくため、必要に応じて「改修」を行い、その時期は、「第1期」及び「第3期」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧北手宮小学校は、今後も「博物館分室」として使用していくため、必要に応じて「改修」を行います。その時期は、<u>令和5(2023)年度及び令和7(2025)年度の施設や設備の「改修」のほか</u>、「第3期」とする予定です。
11	旧石山中学校（石山収蔵庫）	移転後、廃止 ↓ 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館等の収蔵品を保管する旧石山中学校（石山収蔵庫）は、老朽化が著しく保管場所としては適さない状態となっているため、「第1期」において収蔵品を旧北手宮小学校及び旧商業高校に「移転」し、移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館等の収蔵品を保管する旧石山中学校（石山収蔵庫）は、老朽化が著しくなつたため、<u>令和6(2024)年度に収蔵品を旧北手宮小学校に「移転」し、令和7(2025)年度に「廃止」しました。既に用途廃止済みの施設であり、整備方針が定まるまで「管理」とします。</u>
12	生涯学習プラザ	移転 ↓ 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・再編計画では、「生涯学習プラザは産業会館2階へ移転する」と示しており、今後の整備方針は、「第1期」において「移転」とします。 ・「再編計画」に基づき、移転後、生涯学習プラザ跡を勤労女性センター内の「放課後児童クラブ」と総合福祉センター内の「とみおか児童館」の複合施設として整備します。 ・生涯学習プラザ跡の外壁等の改修については、稲穂小学校に併設されているため、「学校施設の長寿命化計画」に基づき行う予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再編計画」(<u>令和6年3月改訂</u>)では、「生涯学習プラザは<u>現施設を維持する</u>」と示しており、<u>当面は「維持」とします。</u> ・生涯学習プラザの外壁等の改修については、稲穂小学校に併設されているため、「学校施設の長寿命化計画」に基づき行う予定です。

13	総合博物館 蒸気機関車資料館	改修	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気機関車資料館は、昭和15(1940)年建築の建物ですが、旧小樽交通記念館の開館に合わせて、平成7(1995)年度に大規模改修を行っており、現施設を引き続き維持していくため、「第1期」において「改修」とする予定です。 	(変更なし)
14	図書館	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は、必要に応じて改修を行いながら施設を維持してきており、今後も計画的に長寿命化改修を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、外壁の改修等が必要であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は、必要に応じて改修を行いながら施設を維持してきており<u>ますが、築40年を経過したことから、将来的には、他施設との「複合化」や「統合化」なども含め、施設の在り方について検討する必要があります。</u>今後の整備方針は、外壁の改修等が必要であることから、「第2期」において「長寿命化改修」とします。
15	総合博物館 機関車庫1号(増築部分)	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された築24～25年の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された<u>築29～30年</u>の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。
16	総合博物館 イベントハウス	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された築24～25年の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された<u>築29～30年</u>の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。
17	総合博物館 収蔵庫C	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された築24～25年の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成6～7(1994～1995)年に建築された<u>築29～30年</u>の施設であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。
18	手宮洞窟保存館	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 手宮洞窟保存館は、平成6(1994)年に建築された築25年の施設であることから、「予防保全」を行い、計画的に長寿命化改修を行うことで、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第2期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 手宮洞窟保存館は、平成6(1994)年に建築された<u>築30年</u>の施設であることから、予防保全を行い、計画的に長寿命化改修を行うことで、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第2期」において「長寿命化改修」とする予定です。

19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成 6～7 (1994～1995) 年に建築された築 24～25 年の施設であることから、「第 1 期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も平成 6～7 (1994～1995) 年に建築された築 29～30 年の施設であることから、令和 7 (2025) 年度に設備の「改修」を行ったほか、「第 1 期」において「長寿命化改修」とします。
20	総合博物館 収蔵庫 A	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 総合博物館収蔵庫 A は、平成 18 年 (2006) 年に建築された築 13 年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 3 期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合博物館収蔵庫 A は、平成 18 (2006) 年に建築された築 18 年の施設であることから、予防保全を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 3 期」において「長寿命化改修」とする予定です。
21	総合体育館	別途計画による	<ul style="list-style-type: none"> 第 7 次総合計画において、「市民の健康増進と子どもたちのスポーツ振興に寄与する総合体育館と市民プールの整備について検討する」こととしており、「再編計画」では、市民要望がある新市民プールの併設や、体育館と新市民プールそれぞれ単独での再整備を検討することとしました。 総合体育館は、災害時は多くの人員を収容できる避難所となり、防災拠点として重要な役割を担う施設ですが、平成 26 (2014) 年度に実施した耐震診断において、必要とされる IS 値 (構造耐震指標) 「0.675 以上」に対し、これを下回る「0.055」との判定が示されており、耐震性能に課題があることが確認されています。 再整備に当たり、工事期間は、「第 1 期」後半から「第 2 期」の間を想定していますが、市民サービスにも大きく関わり、多額の費用もかかるため、規模・機能などの詳細についてさらに検討が必要であることから、本計画とは別に令和 3 (2021) 年度末を目途に単独の計画を策定します。なお、「建替え」の具体的な時期については、その計画の中で示す予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館は、災害時は多くの人員を収容できる避難所となり、防災拠点として重要な役割を担う施設であります。平成 26 (2014) 年度に実施した耐震診断において、必要とされる IS 値 (構造耐震指標) 「0.675 以上」に対し、これを下回る「0.055」との判定が示されており、耐震性能に課題があることが確認されており、整備実施の優先順位は高い施設です。 本計画とは別に令和 3 (2021) 年度に「総合体育館長寿命化計画」を策定し、再整備に向けた対応を進めています。

22 23	おたる自然の村 管理棟・ 農林漁業体験実習 館	改修、長寿命 化改修	<ul style="list-style-type: none"> いずれの施設も耐用年数の半分を経過していますが、建物は定期的に改修されており、引き続き現施設を維持するために、管理棟は「第1期」において「改修」、農林漁業体験実習館は「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>おたる自然の村は、現在、今後の事業内容や運営方法の検討を進めています。</u> いずれの施設も耐用年数の半分を経過していますが、建物は定期的に改修されており引き続き現施設を維持するために、管理棟は「<u>第2期</u>」において「改修」、農林漁業体験実習館は「<u>第2期</u>」において「長寿命化改修」とします。
24	事業内職業訓練センター（ <u>旧天神小学校内</u> ）	移転 ↓ <u>維持</u>	<ul style="list-style-type: none"> 事業内職業訓練センターは、老朽化が進む「旧堺小学校」の廃止に向け、「第1期」において「移転」とします。移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和5（2023）年度に、事業内職業訓練センターは、旧堺小学校から旧天神小学校へ「移転」しました。</u> <u>移転後の事業内職業訓練センター（旧天神小学校）の整備方針は、必要な改修を行い、当面は「維持」とします。</u>
25	産業会館	改修	<ul style="list-style-type: none"> 再編計画では、「産業会館2階を生涯学習プラザの移転先として活用する」ことを示しました。今後必要な改修の検討を進め、整備方針は、「第1期」において「改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>昭和31（1956）年に建築された施設ですが、耐震基準を満たしており、今後必要な改修の検討を進め、整備方針は、「第1期」において「改修」とします。</u>
26	旧堺小学校内 貸付部分	移転 ↓ <u>管理</u>	<ul style="list-style-type: none"> 旧堺小学校内 貸付部分は、老朽化が進む「旧堺小学校」の廃止に向け、「第1期」において「移転」のために現在の使用者と協議します。移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和6（2023）年11月までに、貸付部分を使用していた全ての施設が移転し、現在、旧堺小学校内にて運営している施設はありません。既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。</u>
27	学校給食センター	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築6年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和5（2023）年度に設備の改修を行いました。が、築11年の施設であることから、引き続き「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>

28	手宮保育所	建替え	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んでいる手宮保育所の整備は急がれるため、「第1期」において「建替え」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んでいる手宮保育所は、<u>令和3(2021)年度、令和4(2022)年度及び令和7(2025)年度に設備の改修を行いました。</u> <u>引き続き施設規模や建設場所などを検討し、「第2期」において「建替え」とします。</u>
29	塩谷児童センター	移転、改修 ↓ 維持	<ul style="list-style-type: none"> 施設内にある「放課後児童クラブ」は、塩谷小学校から離れた場所にあり、児童の安全性に課題があります。この課題を解決するために、「第1期」において放課後児童クラブを児童センターの機能とともに塩谷小学校内に「移転」し、「複合化」とします。 「再編計画」に基づき、塩谷児童センター跡は「第1期」において、「改修」の上、塩谷サービスセンターとし、活用します。また、「第3期」においても「改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>塩谷児童センターは、「第1期」において放課後児童クラブを児童センターの機能とともに塩谷小学校内に「移転」し、「複合化」する予定でしたが、課題への対応のため、移転時期を先送りしました。</u> <u>現施設は、整備方針が定まるまで必要な保全を行い、当面「維持」とします。</u>
30	最上保育所	建替え ↓ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> 最上保育所は、市営最上A住宅の1階に設置されています。最上A住宅の建替え(令和12~21(2030~2039)年度予定)に合わせ「第2期」に「建替え」とする予定ですが、保育所の在り方や整備方針については、引き続き検討が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 最上保育所は、市営最上A住宅の1階に設置されています。<u>令和4(2022)年度及び令和7(2025)年度に設備の改修を行ったほか、最上A住宅の建替え(令和12~21(2030~2039)年度予定)に合わせ第2期に「廃止」とする予定ですが、地域の保育需要や提供体制を見極めながら進める必要があります。</u>
31	地域子育て支援センターげんき(奥沢保育所隣接)	改修	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターげんきは、築19年を経過した木造の建物ですが、平成25(2013)年に大規模改修が行われており、今後の在り方については、奥沢保育所と合わせた検討が必要なため、「第4期」において「改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターげんきは、<u>築25年</u>を経過した木造の建物ですが、平成25(2013)年度に大規模改修を行ったほか、<u>令和7(2025)年度に設備の改修を行いました。</u>今後の在り方については、奥沢保育所と合わせた検討が必要なため、「第4期」において「改修」とする予定です。

32	赤岩保育所・地域子育て支援センター風の子	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 赤岩保育所は、平成 15 (2003) 年に建築された施設であることから、計画的に長寿命化改修を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 2 期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤岩保育所は、<u>平成 13 (2001) 年</u>に建築された施設であることから、<u>令和 4 (2022) 年度及び令和 7 (2025) 年度に設備の改修を行ったほか</u>、計画的に長寿命化改修を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 2 期」において「長寿命化改修」とする予定です。
33 34	奥沢保育所 銭函保育所・地域子育て支援センターあそぼ	長寿命化改修 長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 奥沢保育所は、平成 25 (2013) 年、銭函保育所は、平成 26 (2014) 年に建築された施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 4 期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 奥沢保育所は、平成 25 (2013) 年、銭函保育所は、平成 26 (2014) 年に建築された施設であることから、<u>令和 7 (2025) 年度に設備の改修を行ったほか</u>、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 4 期」において「長寿命化改修」とする予定です。
35	<u>旧</u> 総合福祉センター	維持 ↓ <u>除却</u>	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能に課題があり、老朽化が進んだ総合福祉センターの整備は急がれます。しかし、高齢者の利用者が多いことから、利便性の良い市中心部での整備が望まれておりますが、現時点では適地がないため、利用可能な民間施設等が生じるまで現施設を「維持」とします。 総合福祉センター内のとみおか児童館は、生涯学習プラザが産業会館 2 階へ移転した後、生涯学習プラザ跡に「第 1 期」において「移転」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>総合福祉センターは、令和 7 年 (2025) 年度、ウイングベイ小樽 4 階へ「移転」しました。</u> <u>移転後の建物は、第 1 期に「除却」とする予定です。</u> 総合福祉センター内のとみおか児童館は、<u>令和 7 (2025) 年度、ウイングベイ小樽 4 階へ移転した勤労女性センター跡に「移転」しました。</u>

36	旧保健所庁舎	別途計画による ↓ 除却	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしていない保健所庁舎については、行政の効率化と市民サービスの向上を図るため、「再編計画」では、本庁舎別館の建替えの際に「移転」し、新市庁舎に「統合化」することとしています。 「統合化」の期間は「第1期」後半から「第2期」の間を想定しておりますが、具体的な時期については、本計画とは別に策定する本庁舎別館の計画の中で示す予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年(2024)年度、ウイングベイ小樽4階へ「移転」しました。 移転後の建物は、第1期に「除却」とする予定です。
37	旧生活サポートセンター（花園ビル内）	移転 ↓ 除却	<ul style="list-style-type: none"> 令和3(2021)年度に福祉の相談機能と合わせて市本庁舎へ「移転」する予定のため、「第1期」において、「移転」とします。なお、現建物は、花園共同住宅が「公共賃貸住宅長寿命化計画」において、令和10(2028)年度に用途廃止し、除却する予定であるため、「第1期」において「除却」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3(2021)年度に福祉の相談機能と合わせて市本庁舎へ「移転」しました。なお、現建物は、花園共同住宅が「公共賃貸住宅長寿命化計画」において、令和10(2028)年度に用途廃止し、除却する予定であるため、「第1期」において「除却」とします。
38	こども発達支援センター（教育委員会庁舎内）	移転、複合化	<ul style="list-style-type: none"> 「再編計画」に基づき、令和4(2022)年度に耐震性のある旧商業高校へ「移転」し、「複合化」とします。移転後、「(仮称)建設部庁舎」として活用するため、「第1期」において、「改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4(2022)年度に教育委員会庁舎に「移転」し、「複合化」しました。
39	身体障害者福祉センター	維持	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んだ身体障害者福祉センターの整備に当たっては、利便性の良い市中心部での整備が望まれておりますが、現時点では適地がないため、利用可能な民間施設等が生じるまで現施設を「維持」とします。 	(変更なし)
40	さくら学園	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしており、築年数が耐用年数の概ね半分であることから、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしており、築年数が耐用年数の概ね半分であることから、令和7年(2025)年度から計画的に進めている「長寿命化改修」を継続します。

41	花園ビル内 貸付部分	移転、除却	<ul style="list-style-type: none"> 花園ビル内の貸付部分（2階）は、上階の花園共同住宅が「公共賃貸住宅長寿命化計画」において、令和10（2028）年度に用途廃止し、花園ビルを除却する予定であるため、除却前の「第1期」において「移転」とします。 	（変更なし）
42	伝染病隔離病舎（長橋）	管理	<ul style="list-style-type: none"> 既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却されるまで「管理」とします。 	（変更なし）
43	小樽市夜間急病センター	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築6年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 築12年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。
44	本庁舎別館	別途計画による	<ul style="list-style-type: none"> 建築から57年経過し、老朽化が進んでいます。平成26（2014）年度に実施した耐震診断において、必要とされるIS値（構造耐震指標）「0.675以上」に対し、これを下回る「0.158」との判定が示されており、耐震性能に課題がある結果となりました。 本庁舎別館は、本市行政の中核施設であるとともに、災害時には防災拠点となることから、整備実施の優先順位が高く、「再編計画」では、「現本庁舎敷地に新市庁舎を建て替えて、保健所庁舎及び水道局本庁舎と統合化し、行政サービスのワンストップ化を図る。」としています。 「建替え」の工事期間は、「第1期」後半から「第2期」の間を想定していますが、市民サービスにも大きく関わり、多額の費用もかかるため、規模・機能などの詳細についてさらに検討が必要であることから、本計画とは別に令和3（2021）年度末を目途に単独の計画を策定します。なお、「建替え」の具体的な時期については、その計画の中で示す予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築から63年経過し、老朽化が進んでいます。平成26（2014）年度に実施した耐震診断において、必要とされるIS値（構造耐震指標）「0.675以上」に対し、これを下回る「0.158」との判定が示されており、耐震性能に課題がある結果となり、整備実施の優先順位は高い施設です。 本計画とは別に令和3（2021）年度に「小樽市本庁舎館長寿命化計画」を策定し、再整備に向けた対応を進めています。

45	<u>建設部庁舎（旧教育委員会庁舎）</u>	改修	<ul style="list-style-type: none"> 「再編計画」に基づき、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後、「(仮称)建設部庁舎」として活用するため「第1期」において「改修」とします。また、現建物を維持していくため、「第2期」においても「改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>旧教育委員会庁舎は、令和3(2021)年度に教育委員会が旧北海道小樽商業高校へ移転後、令和3(2021)年度及び令和4(2022)年度に「改修」を行い、建設部庁舎として使用しています。</u> 現建物を維持していくため、「第1期」において<u>設備の「改修」を行うほか</u>、「第2期」においても「改修」とする予定です。
46	銭函サービスセンター	移転、廃止	<ul style="list-style-type: none"> 「再編計画」では、「銭函市民センターを改修し、銭函サービスセンターと消防団第15分団詰所を複合化する。」としています。建物の老朽化が著しいため、今後の整備方針は、「第1期」において銭函市民センターに「移転」し、「複合化」とします。なお、移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の老朽化が著しいため、今後の整備方針は、「<u>第1期</u>」から「<u>第2期</u>」にかけて「<u>建替え</u>」<u>予定</u>の銭函市民センターに「移転」とします。なお、移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。
47	<u>旧建設事業室庁舎</u>	移転 ↓ <u>管理</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「再編計画」に基づき、今後の整備方針は、「第1期」において、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後の教育委員会庁舎跡に「移転」とし、現建物を有効活用しない場合は「廃止」し、「除却」します。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和4(2022)年度</u>、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後の教育委員会庁舎跡に「移転」し、<u>移転後の旧建設事業室庁舎は、福祉保険部に移管し、倉庫として活用しており、当面は「管理」とします。</u>
48	塩谷サービスセンター	移転 ↓ <u>維持</u>	<ul style="list-style-type: none"> 「再編計画」に基づき、「第1期」において、耐震基準を満たした塩谷児童センター跡に「移転」し、その後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 塩谷サービスセンター2階の旧消防署塩谷出張所を利用した選挙管理委員会倉庫については、「第1期」において、移転先を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>移転予定先の塩谷児童センターの整備方針を再検討する必要が生じたため、整備方針が定まるまで、必要な保全を行い、現施設を当面「維持」します。</u> 塩谷サービスセンター2階の旧消防署塩谷出張所を利用した選挙管理委員会倉庫については、<u>整備方針が定まるまで継続使用します。</u>

49	観光振興室庁舎	改修	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 (2017) 年の移転時に一部改修を行っておりますが、築 38 年の建物であり、今後も現施設を維持するため、「第 2 期」において「改修」とする予定です。 	(変更なし)
50	消防本部整備工場 (花園ビル内)	除却	<ul style="list-style-type: none"> 花園ビル 1 階にある消防本部整備工場は、既に用途廃止済みであり、上階の花園共同住宅が「公共賃貸住宅長寿命化計画」において、令和 10 (2028) 年度に除却する予定であることから、整備方針は「第 1 期」において「除却」とします。 	(変更なし)
51	消防署手宮支署 <u>(旧消防署手宮出張所)</u>	統合化 ↓ <u>長寿命化改修</u>	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した消防署手宮出張所と消防署高島支所を「統合化」し、令和 3 (2021) 年に消防署手宮支署が供用開始の予定です。統合後は両施設を「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した消防署手宮出張所と消防署高島支所を「統合化」し、令和 3 (2021) 年<u>度</u>に消防署手宮支署が供用開始<u>しました。</u> <u>消防署手宮出張所は、令和 4 (2022) 年度に「売却」しました。</u> <u>統合後の「消防署手宮支署」は、築 4 年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第 4 期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>
52	消防署高島支所	統合化 ↓ <u>(売却)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した消防署手宮出張所と消防署高島支所を「統合化」し、令和 3 (2021) 年に消防署手宮支署が供用開始の予定です。統合後は両施設を「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和 3 (2021) 年度に「売却」しました。</u>

53	消防本部庁舎	長寿命化改修 ↓ 改修	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数の半分を経過していますが、耐震基準を満たしており、これまでに必要に応じて外壁等の改修を行っていることから、「長寿命化改修」により施設の延命化を図ります。なお、実施時期については、本庁舎別館を建て替える際には、同一敷地内にある消防本部庁舎の老朽度合を踏まえ、必要に応じて消防本部庁舎も含めて検討を行うため、「第2期」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数の半分を経過していますが、耐震基準を満たしており、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度に施設や設備等の「改修」を行ったほか、「第1期」後半も「改修」を行い、さらに、「長寿命化改修」により施設の延命化を図ります。なお、実施時期については、本庁舎別館を建て替える際には、同一敷地内にある消防本部庁舎の老朽度合を踏まえ、必要に応じて消防本部庁舎も含めて検討を行うため、「第2期」とする予定です。
54	消防訓練塔	改修	<ul style="list-style-type: none"> 築29年の建物で、耐用年数の半分を経過しているため、「第1期」において「改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 築35年の建物で、耐用年数の半分を経過しているため、「第1期」において「改修」とします。
55	消防署オタモイ支署 蘭島支所	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築33年が経過していますが、現施設を維持していくため、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 築39年が経過していますが、現施設を維持していくため、「第2期」において「長寿命化改修」とします。
56	市民消防防災研修センター	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築29年の建物であり、現施設を維持していくため、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 築35年の建物であり、現施設を維持していくため、「第1期」において「長寿命化改修」とします。
57	消防署	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築25年の建物であり、現施設を維持していくため、「第1期」において「長寿命化改修」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 築31年の建物であり、現施設を維持していくため、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度に「長寿命化改修」及び「改修」を行ったほか、「第1期」において「長寿命化改修」とします。
58	消防署銭函支署	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 平成10(1998)年に建築された新しい施設であることから「予防保全」を行い、計画的に「長寿命化改修」を行って、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6(2024)年度に設備の改修を行ったほか、平成10(1998)年に建築された新しい施設であることから「予防保全」を行い、計画的に「長寿命化改修」を行って、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。
59	消防署朝里出張所	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> 築10年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 築16年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。

60	消防署オタモイ支署	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> ・築2年の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>築8年</u>の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。
61	堺小学校記念室 (旧堺小学校内)	移転 ↓ 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・堺小学校記念室は、老朽化が進む「旧堺小学校」の廃止に向け、「第1期」において「移転」とします。移転先としては、旧商業高校に移転する教育委員会の管理部分を想定します。移転後、現建物は「廃止」し、「除却」又は「売却」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堺小学校記念室は、<u>令和3(2021)年度、教育委員会庁舎に機能を「移転」しました。移転後の建物の廃止後は、「除却」又は「売却」するまで「管理」とします。</u>
62	<u>建設部(旧教育委員会)庁舎付属体育館</u>	改修 ↓ 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・「再編計画」に基づき、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後、「(仮称)建設部庁舎」として活用するため「第1期」において「改修」とします。また、現建物を維持していくため、「第2期」においても「改修」とする予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>建設部(旧教育委員会)庁舎付属体育館は、主に資材置き場として活用しており、必要な保全を行い、当面「維持」とします。</u>
63 66	本庁舎自動車車庫 (海側1) 本庁舎自動車車庫 (山側)	別途計画による	<ul style="list-style-type: none"> ・「再編計画」では、本庁舎別館の建替えの際に、水道局本庁舎及び保健所庁舎の公用車車庫と統合し、「建替え」としています。 ・「建替え」の工事期間は「第1期」後半から「第2期」の間を想定しておりますが、具体的な時期については、本計画とは別に策定する本庁舎別館の計画の中で示す予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画とは別に<u>令和3(2021)年度末に「小樽市本庁舎館長寿命化計画」を策定し、再整備に向けた対応を進めています。</u>
64	建設事業室庁舎 (重機車庫)	移転 ↓ 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・「再編計画」に基づき、今後の整備方針は、「第1期」において、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後の教育委員会庁舎跡に「移転」とし、現建物を有効活用しない場合は「廃止」し、「除却」とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>令和4(2022)年度、建設事業室は建設部庁舎に「移転」しましたが、重機車庫として引き続き使用するため、現施設は、当面「維持」とします。</u>

65	建設事業室土木資材倉庫(塩谷・幸地区1)	移転 ↓ <u>廃止、管理</u>	・「再編計画」に基づき、今後の整備方針は、「第1期」において、教育委員会及びこども発達支援センターが旧商業高校へ移転後の教育委員会庁舎跡に「移転」とし、現建物を有効活用しない場合は「廃止」し、「除却」とします。	・ <u>建設事業室土木資材倉庫は、建設事業室の移転先である旧教育委員会庁舎に「第1期」に移転し、現建物は「廃止」します。廃止後は、「除却」を行うまで「管理」とします。</u>
67	清掃事業所 第1車庫(天神)	移転、除却 ↓ <u>除却</u>	・北海道新幹線の整備に合わせ、「第1期」において、「移転」し、その後、現建物は「除却」とします。	・ <u>清掃事業所 第1車庫(天神)は、令和5(2023)年度に「移転」し、現建物は、北海道新幹線の整備に合わせ「第1期」において「除却」とする予定です。</u>
68	清掃事業所 第2車庫(天神)	廃止、除却 ↓ <u>(除却)</u>	・北海道新幹線の整備に合わせ、「第1期」において、「廃止」し、その後は「除却」とします。	・ <u>清掃事業所 第2車庫(天神)は、令和6(2024)年度に「除却」しました。</u>
69	清掃事業所 第2事務所(天神)	廃止、除却 ↓ <u>(除却)</u>	・北海道新幹線の整備に合わせ、「第1期」において、「廃止」し、その後は「除却」とします。	・ <u>清掃事業所 第2事務所(天神)は、令和3(2021)年度に「除却」しました。</u>
70	旧廃棄物処理場車庫(伍助沢)	廃止、管理	・令和4(2022)年度以降に用途廃止予定のため、「第1期」において、「廃止」とし、その後、現建物は除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>令和9(2027)年度</u> 以降に用途廃止のため、「第1期」において「廃止」とし、その後、現建物は除却又は売却等を行うまで「管理」とします。
71	旧廃棄物処理場破碎ごみ搬出設備施設(伍助沢)	廃止、管理	・令和4(2022)年度以降に用途廃止予定のため、「第1期」において、「廃止」とし、その後、現建物は除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>令和9(2027)年度</u> 以降に用途廃止のため、「第1期」において「廃止」とし、その後、現建物は「 <u>除却</u> 」又は「 <u>売却</u> 」等を行うまで「管理」とします。
72	<u>旧</u> 清掃事業所(天神)	移転 ↓ <u>管理</u>	・北海道新幹線の整備に合わせ、「第1期」において、「移転」し、その後、現建物は「除却」又は「売却」等とします。	・ <u>清掃事業所(天神)は、令和5(2023)年度に旧天神小学校に「移転」しました。移転後の建物は、「除却」又は「売却」するまで「管理」とします。</u>
73	旧高島魚揚場(上屋)	改修 ↓	・施設の在り方が定まるまで、現施設を「維持」としますが、築後59年を経過しているため、計画の位置付けとしては「第2期」に「改修」とする予定です。	・ <u>築65年を経過し耐用年数を超えているため、「第1期」において「除却」とします。</u>
74	旧高島魚揚場(事務所)	<u>除却</u>		

75 76 77 79	公設水産地方卸売市場(上屋・検量施設・卸売場・排水処理施設)	統合化	・利用状況や取扱量の減少を踏まえ、施設規模の見直しを行い、計画の位置付けとしては「第2期」に上屋と卸売場の「統合化」による「改修」、検量施設の「建替え」、排水処理施設(廃止済)の「除却」を検討します。	(変更なし)
78 80 81	公設青果地方卸売市場(倉庫) 公設青果地方卸売市場(市場) 公設青果地方卸売市場(冷蔵庫)	改修 ↓ 維持	・利用状況や取扱量の減少を踏まえ、施設規模の縮小に向けて、利用している事業者と協議します。整備方針が定まるまでは現建物を「維持」としますが、倉庫は築後42年、市場及び冷蔵庫は築後47年を経過していますが、計画の位置付けとしては「第3期」において「改修」とする予定です。	・令和3(2021)年度末の公設廃止後、現建物を普通財産として青果物事業者等へ貸し付けしています。倉庫は築48年、旧市場及び冷蔵庫は築53年を経過しており、老朽化が進行していることから、「第1期」において、今後の施設の在り方を含め、青果物業者等と協議していく予定です。計画の位置付けとしては、当面「維持」とします。
82	葬斎場	長寿命化改修	・令和2(2020)年度から令和7(2025)年度の「第1期」の6か年で大規模改修を行う予定であり、「長寿命化改修」とします。	・令和2(2020)年度から令和8(2026)年度の「第1期」の7か年で大規模改修を行う予定であり、「長寿命化改修」とします。
83	旧松ヶ枝中学校(校舎・体育館)	管理	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	(変更なし)
84	旧北山中学校(校舎)	管理 ↓ 除却	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・既に用途廃止済みの施設であり、「第1期」に「除却し、除却後は「売却」とする予定です。
85	小樽駅前第一ビル	維持	・再開発により建設した商業ビル内に区分所有している部分であることから、その必要性については、当該建物の再々開発の方向性を踏まえ、別途検討することとし、当面は「維持」とします(現在、権利者等により当該建物の再々開発に向けて検討中)。	(変更なし)
86	旧塩谷中学校(校舎・体育館)	管理	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	(変更なし)

87	旧末広中学校（校舎・体育館）	管理 ↓ <u>除却</u>	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・既に用途廃止済みの施設であり、 <u>「第1期」に「除却し、除却後は隣接する陸上競技場の駐車場とする予定です。」</u>
88	<u>清掃事業所（旧天神小学校）</u> （校舎・体育館）	管理 ↓ <u>維持</u>	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>令和5（2023）年度に清掃事業所、事業内職業訓練センター事務所が、令和6（2024）年度にシルバー人材センターが「移転」しました。今後も、施設を使用するため、必要な保全を行い、当面「維持」とします。</u>
89	倉庫（健康増進課） 1（長橋）	管理 ↓ <u>（除却）</u>	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>倉庫（健康増進課）1は、令和6（2024）年度に「除却」しました。</u>
90	倉庫（健康増進課） 2（長橋）	管理 ↓ <u>（除却）</u>	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>倉庫（健康増進課）2は、令和6（2024）年度に「除却」しました。</u>
91	<u>教育委員会庁舎（旧北海道小樽商業高校）</u>	改修 ↓ <u>改修</u>	・旧北海道小樽商業高校の建物は、平成14（2002）年に耐震改修工事及び大規模改修工事を実施済みであり、「第1期」において「改修」し、教育委員会、市立高等看護学院及びこども発達支援センターが順次移転します。 ・今後、計画的に長寿命化改修を行い、延命化を図るため、「第2期」に設備の「改修」を行い、その後の施設の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。	・旧北海道小樽商業高校の建物は、平成14（2002）年度に耐震改修工事及び大規模改修工事を実施済みであり、「第1期」において「改修」し、教育委員会、市立高等看護学院及びこども発達支援センターが順次移転しま <u>した</u> 。 ・ <u>令和3（2021）年度及び令和7（2025）年度において設備等の「改修」を行ったほか、今後も、計画的に長寿命化改修を行い、延命化を図るため、「第2期」に設備の「改修」を行い、その後の施設の整備方針は、「第3期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>
92	旧豊倉小学校（校舎・体育館）	維持 ↓ <u>管理</u>	・新耐震基準で建てられた建物で、避難所にも指定されている施設であるため、「維持」とします。	・ <u>旧豊倉小学校（校舎・体育館）は、土砂災害警戒区域に指定されたことに伴い、令和6（2024）年度に指定避難所の指定が解除されています。今後は、利活用などの方針が決定するまでの間、「管理」とします。</u>

93	旧祝津小学校（校舎・体育館・クラブハウス）	維持 ↓ <u>管理</u>	・新耐震基準で建てられた建物で、避難所にも指定されている施設であるため、「維持」とします。	・旧祝津小学校（校舎・体育館・クラブハウス）は、既に用途廃止済みの施設であり、 <u>適切に「管理」を行い、「第1期」において「売却」する予定です。</u>
94	旧色内小学校（校舎・体育館・クラブハウス）	管理 ↓ <u>(除却)</u>	・既に用途廃止済みの施設であり、除却又は売却等を行うまで「管理」とします。	・ <u>旧色内小学校（校舎・体育館・クラブハウス）は、令和4（2022）年度に「除却」しました。</u>
95	いなきたコミュニティセンター（駐車場）	維持	・新耐震基準で建てられた建物で、避難所にも指定されている施設であるため、「維持」とします。	（変更なし）
96	<u>銭函小学校放課後児童クラブ</u>	<u>長寿命化改修</u>		・ <u>令和5（2023）年建築の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>
97	<u>観光船ターミナル（旧小樽市内航船客待合所ほか）</u>	<u>長寿命化改修</u>		・ <u>令和7（2025）年建築の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>
98	<u>港湾管理事務所</u>	<u>長寿命化改修</u>		・ <u>令和7（2025）年建築の施設であることから、「予防保全」を行い、延命化を図ります。今後の整備方針は、「第4期」において「長寿命化改修」とする予定です。</u>

対象施設ロードマップ（令和7年11月末現在）

現行の計画

NO.	施設名 ()書きは、機能・棟	優先度	第1期												第2期	第3期	第4期
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40		
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058		
1	小樽市民会館	A	改修	改修	改修	改修	改修							建替え			
2	(うち放課後児童クラブ)	B					No12 へ移転										
	とみおか児童館 (旧勤労女性センター)		※行追加														
3	勤労青少年ホーム	B												統合化 又は 複合化			
4	勤労青少年ホーム体育館																
5	銭函市民センター	B						改修									
6	小樽駅前第二ビル公共プラザ	C	維持														
7	小樽市民センター	D												長寿命化 改修			
8	いなきたコミュニティーセンター (集会室・体育室)	D	維持														
9	文学館・美術館	B	改修											改修		改修	
10	旧北手宮小学校 (校舎・体育館)	B							改修						改修		
11	旧石山中学校(石山収蔵庫)	B							No91 へ一部移転	No10 へ移転	廃止						
12	生涯学習プラザ	B				No25 へ移転											
13	総合博物館 蒸気機関車資料館	C									改修						
14	図書館	D			長寿命 化改修												
15	総合博物館 機関車車庫1号(増築部分)	D									長寿命 化改修						
16	総合博物館 イベントハウス	D									長寿命 化改修						
17	総合博物館 収蔵庫C	D									長寿命 化改修						
18	手宮洞窟保存館	D											長寿命 化改修				
19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	D									長寿命 化改修						

見直し後の整備方針

NO.	施設名 ()書きは、機能・棟	優先度	第1期												第2期	第3期	第4期
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40		
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058		
1	小樽市民会館	A	改修	改修	改修	改修	改修							建替え			
2	(うち放課後児童クラブ)	B															
	とみおか児童館 (旧勤労女性センター)			移転 改修													
3	勤労青少年ホーム	B												No35 から 移転	維持		
4	勤労青少年ホーム体育館		改修														
5	銭函市民センター	B													除却	建替え	
6	小樽駅前第二ビル公共プラザ	C	維持														
7	小樽市民センター	D											改修		改修	改修	
8	いなきたコミュニティーセンター (集会室・体育室)	D		改修									改修		維持		
9	文学館・美術館	B	改修											改修		改修	
10	旧北手宮小学校 (校舎・体育館)	B							改修							改修	
11	旧石山中学校(石山収蔵庫)	B							No91 へ一部移転	No10 へ移転	廃止				No10 へ移転	廃止 管理	
12	生涯学習プラザ	B				No25 へ移転									改修	維持	
13	総合博物館 蒸気機関車資料館	C									改修					改修	
14	図書館	D			長寿命 化改修											長寿命 化改修	
15	総合博物館 機関車車庫1号(増築部分)	D									長寿命 化改修					長寿命 化改修	
16	総合博物館 イベントハウス	D									長寿命 化改修					長寿命 化改修	
17	総合博物館 収蔵庫C	D									長寿命 化改修					長寿命 化改修	
18	手宮洞窟保存館	D											長寿命 化改修			長寿命 化改修	
19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	D									長寿命 化改修				改修	長寿命 化改修	

NO.	施設名 ()書きは、機能・棟	ク 機 先 度 プ	第1期										第2期	第3期	第4期			
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40			
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058			
40	さくら学園	B					長寿命 化改修											
41	花園ビル内 貸付部分	C						移転	除却									
42	伝染病隔離病舎 (長橋)	C	管 理															
43	小樽市夜間急病センター	D															長寿命化 改修	
44	本庁舎別館	A					別途計画による 建替え工事の想定期間											
	《新庁舎》																	
	水道局本庁舎																	
参考	本庁舎本館		別途計画による 本庁舎別館の建替えに伴う 改修工事の想定期間															
45	建設部庁舎 (旧教育委員会庁舎)	B	改修	改修								改修						
46	銭函サービスセンター	B					No5 へ移転	廃止										
47	旧建設事業室庁舎(庁舎)	B		No45 へ移転														
64	旧建設事業室庁舎 (重機車庫)	B		No45 へ移転	※行追加													
65	旧建設事業室庁舎 (土木資材倉庫)	B		No45 へ移転	※行追加													
48	塩谷サービスセンター	B				No29 へ移転	廃止											
49	観光振興室庁舎	C										改修						
50	消防本部整備工場 (花園ビル内) (平成30年度廃止済)	B							除却									
51	消防署手宮出張所	B	廃止															
	《消防署手宮支署》	統合化																
52	消防署高島支所	B	廃止															
53	消防本部庁舎	B										長寿命化 改修						
54	消防訓練塔	D					改修								改修			
55	消防署オタモイ支署蘭島支所	D	0			長寿命 化改修									長寿命化 改修			
56	市民消防防災研修センター	D						長寿命 化改修								長寿命 化改修		



			第1期										第2期	第3期	第4期			
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40			
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058			
								長寿命 化改修	長寿命 化改修	長寿命 化改修	長寿命 化改修							
									移転	除却								
			管 理															
																長寿命化 改修		
			改修	改修		改修	別途計画による 建替え工事の想定期間											
							別途計画による 本庁舎別館の建替えに伴う 改修工事の想定期間											
			改修	改修							改修				改修			
														No.5へ移転	廃止			
				No45 へ移転					廃止 管理									
			維 持															
				No45 へ一部 移転				No45 へ移転	廃止 管理									
			維 持															
															改修			
													除却					
			統合化	売却												長寿命化 改修		
			売却															
			改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修				長寿命化 改修				
											改修							
														長寿命化 改修				
														長寿命 化改修				

NO.	施設名 ()書きは、機能・棟	優先度 グループ	第1期										第2期	第3期	第4期		
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40		
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058		
57	消防署	D	長寿命化改修								長寿命化改修						
58	消防署銭函支署	D											長寿命化改修				
59	消防署朝里出張所	D													長寿命化改修		
60	消防署オタモイ支署	D													長寿命化改修		
61	堺小学校記念室 (旧堺小学校内)	B	No91 へ移転														
62	建設部(旧教育委員会)庁舎付 属体育館	B		改修									改修				
63 66	本庁舎自動車車庫 (海側1、山側)	B	別途計画による 建替え工事の想定期間														
67	清掃事業所 第1車庫 (天神)	C			移転			除却									
68	清掃事業所 第2車庫 (天神)	C	廃止					除却									
69	清掃事業所 第2事務所 (天神)	C	廃止 除却														
70	旧廃棄物処理場 車庫 (伍助沢)	C						廃止 管理									
71	旧廃棄物処理場 破砕ごみ搬出設備施設 (伍助沢)	D						廃止 管理									
72	旧清掃事業所 (天神)	D			移転												
73 74	旧高島魚揚場 (上屋・事務所)	B											改修				
75	公設水産地方卸売市場 (上屋) (検量施設) (卸売場) (排水処理施設)	B											統合化				
76													建替え				
77														統合化			
79														除却			
78 80 81	公設青果地方卸売市場 (倉庫・市場・冷蔵庫)	B											改修				
82	葬斎場	B	長寿命化改修														
83	旧松ヶ枝中学校 (校舎・体育館)	C	管 理														
84	旧北山中学校 (校舎)	C	管 理														
85	小樽駅前第一ビル	C	維 持														
86	旧塩谷中学校 (校舎・体育館)	C	管 理														

NO.	施設名 ()書きは、機能・棟	優先度 グループ	第1期										第2期	第3期	第4期		
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13~R22	R23~R32	R33~R40		
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~2040	2041~2050	2051~2058		
57	消防署	D	長寿命化改修	改修	改修						長寿命化改修						
58	消防署銭函支署	D											改修			長寿命化改修	
59	消防署朝里出張所	D														長寿命化改修	
60	消防署オタモイ支署	D														長寿命化改修	
61	堺小学校記念室 (旧堺小学校内)	B	No91 へ移転	管理													
62	建設部(旧教育委員会)庁舎付 属体育館	B	維 持														
63 66	本庁舎自動車車庫 (海側1、山側)	B	別途計画による 建替え工事の想定期間														
67	清掃事業所 第1車庫 (天神)	C			移転										除却		
68	清掃事業所 第2車庫 (天神)	C	廃止					除却									
69	清掃事業所 第2事務所 (天神)	C	廃止 除却														
70	旧廃棄物処理場 車庫 (伍助沢)	C													廃止 管理		
71	旧廃棄物処理場 破砕ごみ搬出設備施設 (伍助沢)	D													廃止 管理		
72	旧清掃事業所 (天神)	D			移転								No.88 へ移転	管理			
73 74	旧高島魚揚場 (上屋・事務所)	B													除却		
75	公設水産地方卸売市場 (上屋) (検量施設) (卸売場) (排水処理施設)	B														統合化	
76																建替え	
77																	統合化
79																	除却
78 80 81	公設青果地方卸売市場 (倉庫・市場・冷蔵庫)	B	維 持														
82	葬斎場	B	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修							
83	旧松ヶ枝中学校 (校舎・体育館)	C	管 理														
84	旧北山中学校 (校舎)	C	管 理														
85	小樽駅前第一ビル	C	維 持														
86	旧塩谷中学校 (校舎・体育館)	C	管 理														

表 5-6 第 1 期計画期間 (R3-12) の概算事業費 (令和 7 年 1 1 月末現在)

本表における令和8(2026)年度以降の事業費は、令和7(2025)年時点の単価等を基に算出した概算であり、整備内容詳細の決定や人件費・資材価格等の変動により、変更となる場合があります。

※上段の「計画」における各年度の事業費は、計画に掲載されている概算事業費。
 ※下段の「実績」における各年度の事業費は、令和3年度から6年度は決算額、令和7年度は当初予算額。

建物名			R3	R4	R5	R6	R7	小計	R8	R9	R10	R11	R12	小計	合計
1	小樽市民会館	計 画	68	90	75	50	107	390	202	78	101			381	771
		実 績	60	85	85	73	95	399							
2	とみおか児童館(旧・勤労女性センター)	計 画													
		実 績	7	8			30	45							45
3	勤労青少年ホーム	計 画													
		実 績			10		27	37							37
5	銭函市民センター	計 画										100	1,050	1,150	1,150
		実 績													
7	小樽市民センター	計 画							71			27	7	105	105
		実 績													
8	いなきたコミセン	計 画													
		実 績		12		7	1	20							20
9	文学館・美術館	計 画	27					27							27
		実 績	35		7		19	61							61
10	旧北手宮小学校	計 画													
		実 績			19		5	24							24
12	生涯学習プラザ	計 画													
		実 績			3			3							3
13	総合博物館 蒸気機関車資料館	計 画										22		22	22
		実 績													
14	図書館	計 画			68			68							68
		実 績													
15	総合博物館 機関車車庫1号(増築部分)	計 画										21		21	21
		実 績													
16	総合博物館 イベントハウス	計 画										30		30	30
		実 績													
17	総合博物館 収蔵庫C	計 画										15		15	15
		実 績													
19	総合博物館 鉄道・科学・歴史館	計 画											143	143	143
		実 績					155	155							155
21	総合体育館	計 画													
		実 績				29	10	39							39
22	おたる自然の村管理棟	計 画													
		実 績					2	2							2
25	産業会館	計 画			100			100	193					193	293
		実 績													
27	学校給食センター	計 画													
		実 績			4			4							4
28	手宮保育所	計 画				260		260							260
		実 績	6	8			5	18							18
29	塩谷児童センター	計 画			6			6							6
		実 績													
31	地域子育て支援センター「げんき」	計 画													
		実 績					3	3							3
30	最上保育所	計 画													
		実 績		4			3	7							7
32	赤岩保育所	計 画													
		実 績		6			19	26							26
33	奥沢保育所	計 画													
		実 績					12	12							12

